

令和 4 年12月12日 第 3 回サステナブルファッションの推進に向けた関係省庁連携会議



https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

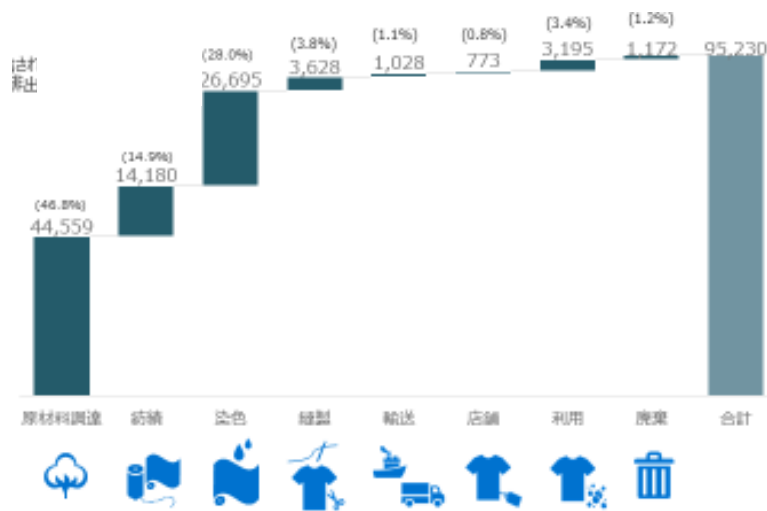
ファッションを持続可能に

環境省「ファッションと環境」タスクフォース リーダー
岡野 隆宏

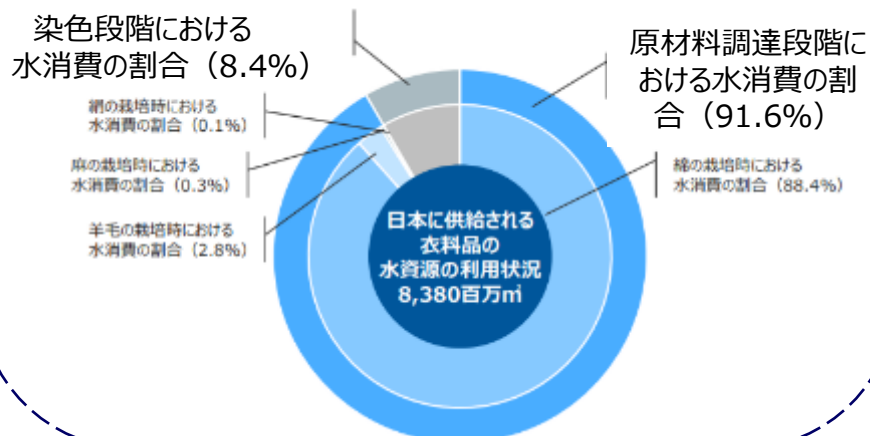
CO₂

原材料調達から製造までの環境負荷

国内に供給される衣料品のライフサイクルCO₂排出量



国内に供給されている衣料品のライフサイクル水消費量

CO₂排出量

約**90,000kt**

水消費量

約**83億m³**

※製造段階とは、紡績・染色・裁断・縫製・輸送を指します

服1着あたり換算

CO₂排出量

約**25.5kg**

水消費量

約**2,300ℓ**

ペットボトル(500ml)



約**255本製造分**

浴槽



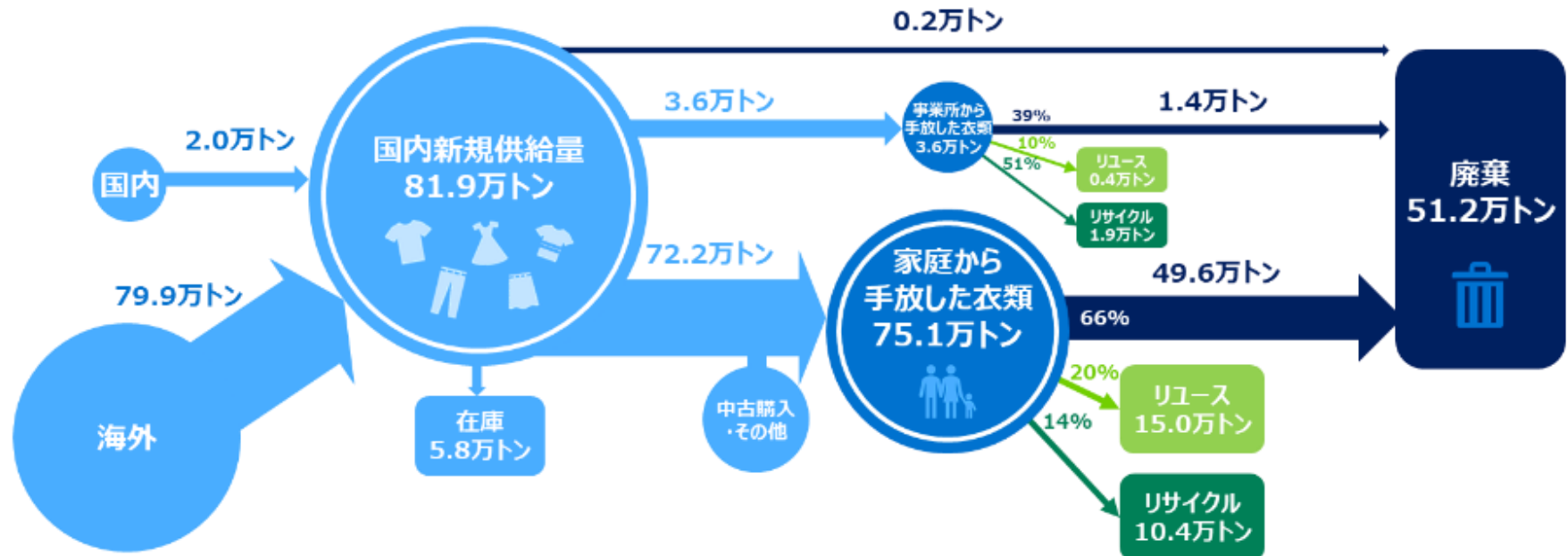
約**11杯分**

ファッションと環境調査結果

衣類のマテリアルフロー サマリー

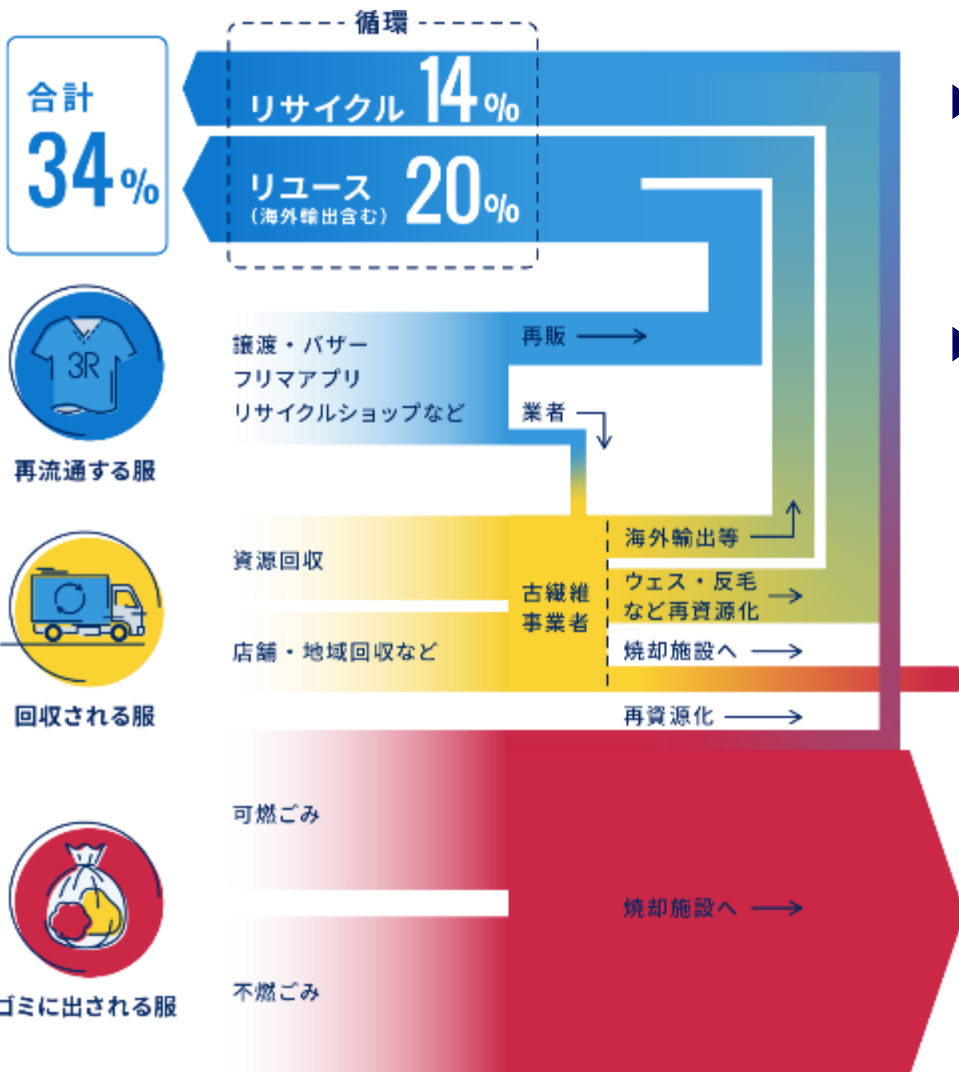
- 衣類の国内新規供給量は計81.9万トン（2020年）に対し、その約9割に相当する計78.7万トンが事業所及び家庭から使用後に手放されると推計。
- このうち、廃棄される量は計51.0万トン、手放される衣類の64.8%
 - リサイクルされる量は計12.3万トン、手放される衣類の15.6%
 - リユースされる量は計15.4万トン、手放される衣類の19.6%

2020年版 衣類のマテリアルフロー



手放した後の衣服の行方

家庭から手放した後の衣服のマテリアルフロー



- ▶ 1年で供給される衣服は81.9万t
その9割に当たる78.7万tが
1年で手放される
- ▶ 手放された衣服の2/3は廃棄

1日あたりに焼却・埋め立てされる
衣服の総量(平均)

1,300t/Day

大型トラック



130台分

処分・
埋め立て
66%

サステナブルファッションに向けたアクション



生活者



企業



1 今持っている服を長く大切に着よう

- ▶ 1着との長いお付き合いを
- ▶ お直しやリペアなど手を加えて愛着倍増へ



- ▶ 長く着られる丁寧な服作り
- ▶ リペアで新たな価値、顧客との長い関係づくりを



2 リユースで楽しもう

- ▶ セカンドハンド(古着)で何度でも楽しもう



- ▶ 新たな服と出会える選択肢の拡大
(サブスクリプション、レンタルサービスなど)
- ▶ リユース市場の活性化
- ▶ アップサイクルへの挑戦



3 先のことを考えて買おう

- ▶ 本当に必要か見極めよう
- ▶ 長く着られる品質を選ぼう

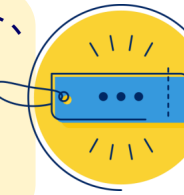


- ▶ 適正な在庫管理
- ▶ 短サイクル化の見直し



4 作られ方をしっかり見よう

- ▶ 衣服の素材や生産ルート、環境影響を確認しよう
- ▶ 再生素材などサステナブルな素材の商品を見つけ、選ぼう



- ▶ ライフサイクルの環境影響を、トレーサビリティを確保し把握
- ▶ 環境認証・ラベルを活用し、分かりやすく伝える



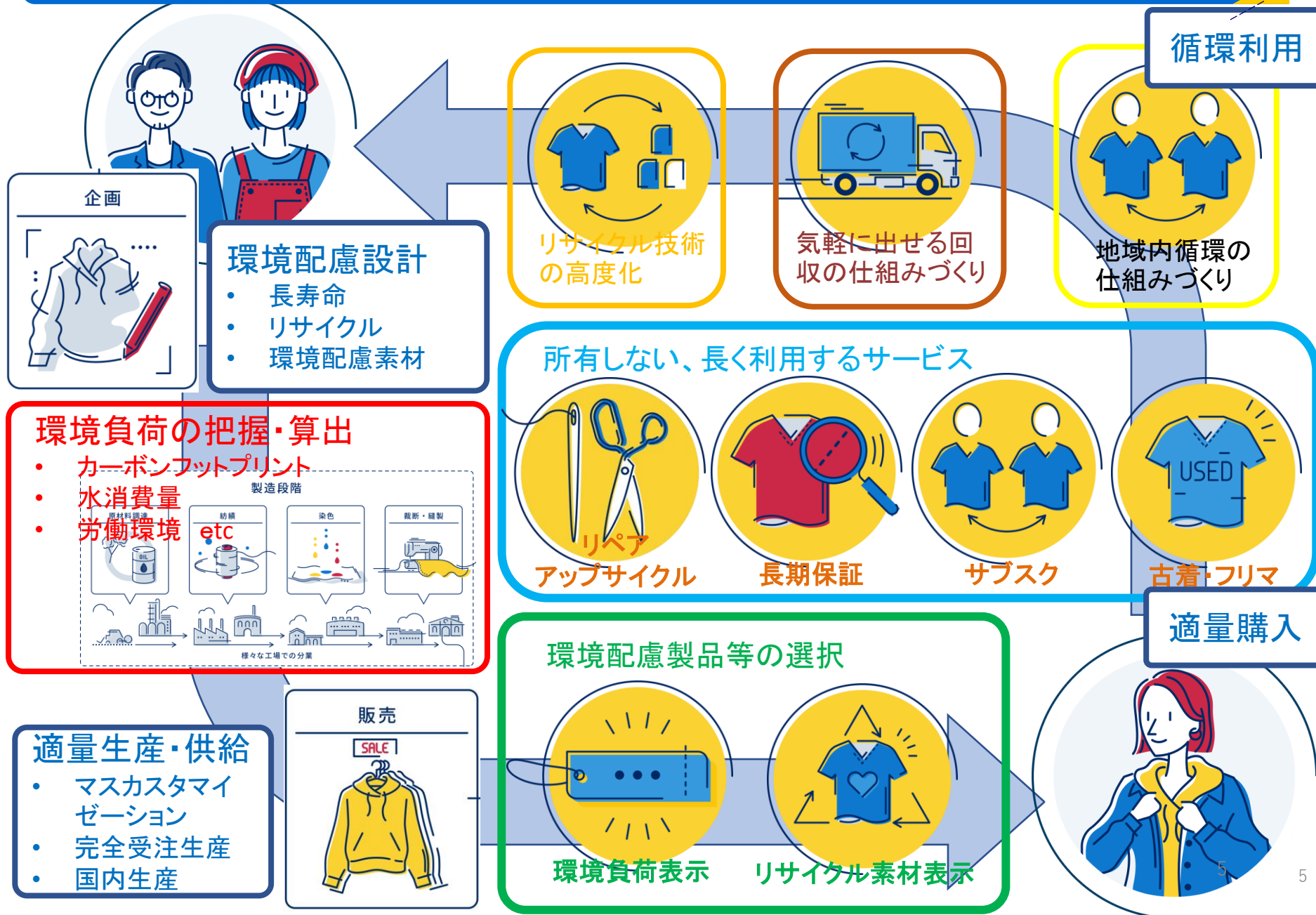
5 服を資源として再生利用しよう

- ▶ 古着を店舗に持ち込もう
- ▶ 古着を資源として回収に出そう



- ▶ 店頭回収の推進
- ▶ 服から服をつくる循環構築

サステナブルファッションのイメージ



サステナブルファッションによる新たな価値 創造 に向けた提言

自由民主党環境・温暖化対策調査会サステナブルファッションPT（2022年4月5日）

- 国民全体が新しいライフスタイルの一步としてサステナブルファッションに意識的に取り組んでいくために、立法府が果たすべき役割は大きい。党としても、サステナブルファッションへの行動を促すメッセージとして、社会のあるべき姿や実現に向けた推進体制等を示した**サステナブルファッション推進法（仮称）の新たな整備も含め検討を進めるべき**である。
- サステナブルファッションPTは、こうした認識の下、企業、生活者が「**適量生産・適量購入・循環利用**」と「**適正価格**」を基本として**サステナブルファッション**についての理解と行動を進めていくことができるよう、累次のヒアリングを踏まえ、政府に対して関係省庁が一丸となって取り組むための体制整備を求めるとともに、下記の提言を行う。



サステナブルファッションによる新たな価値 創造 に向けた提言

自由民主党環境・温暖化対策調査会サステナブルファッションPT（2022年4月5日）

1. 新たなサステナブル市場に対応した経営の推進

- 在庫を抑えて、過度な値下げを抑制し、稼ぐ力を強化する取組みを進めるため、**適量発注・適量生産・適量供給のためのDXの推進**など

2. 衣類回収のシステム構築とリサイクル技術の高度化

- 生活者が**手軽に衣類を出せる回収の仕組みづくり**と、高度な選別やリサイクルに関する**技術開発・実証・社会実装**に戦略的に取り組む企業側の体制作りを両輪で推進するための実態把握と政策的支援

3. サプライチェーンの透明性の確保と環境負荷の把握

- 企業が廃棄量を含む**環境情報を積極的に開示**していく環境づくり
- 素材特性を加味したサプライチェーン・ライフサイクル全体の**CO2の排出量を把握し、共通のフォーマットで計算・可視化**
- 企業と家庭から**排出される衣類の量を推計**して施策立案に活用

4. 生活者の理解と行動変容の促進に向けたラベリングと情報発信

- 適切なケア・リユース・リペア、サブスクリプション等の呼びかけ
- サステナブル・リサイクル・環境配慮設計の製品の効果的な**ラベリングの検討**
- CO2排出量の見える化
- 回収などに対する**行動変容インセンティブの付与**
- クールビズやウォームビズ、3R（リデュース、リユース、リサイクル）などサステナブルなライフスタイルを推進する機会を通じて発信
- インフルエンサーやファッションメディアなどと連携した情報発信

2. 衣類回収のシステム構築とリサイクル技術の高度化

- 生活者が**手軽に衣類を出せる回収の仕組みづくり**と、高度な選別やリサイクルに関する**技術開発・実証・社会実装**に戦略的に取り組む企業側の体制作りを両輪で推進するための実態把握と政策的支援

- ・生活者が手軽に衣類を出せる回収の仕組みづくりのための実態把握調査を実施中
- ・衣類を対象としてリユース関連事業者や市民団体等と連携した先導的なリユース施策を実施しようとする京都市、川崎市の取組を、モデル実証事業として公募採択し、有効性を検証。

京都府京都市

次のような、市域内で衣服を循環させるためのプラットフォームの創出を目指す。

- ・リユース事業者が、京都市内の銀行等に衣服を回収する回収BOXを設置。
- ・回収した衣服について、リユース事業者が仕分け。
- ・再利用可能な衣服について、市内の小売り・卸事業者やイベント等で販売する。

神奈川県川崎市

地域情報の掲示板サイト（デジタルプラットフォーム）を活用し、市民の持ち込み及び自治体の回収による、衣類、食器、子供用品、家具家電等の使用済製品や、フードドライブ等を促す。

3. サプライチェーンの透明性の確保と環境負荷の把握

- 企業が廃棄量を含む環境情報を積極的に開示していく環境づくり
- 素材特性を加味したサプライチェーン・ライフサイクル全体のCO2の排出量を把握し、共通のフォーマットで計算・可視化
- 企業と家庭から排出される衣類の量を推計して施策立案に活用

- 大企業のサプライチェーン全体の脱炭素化推進モデル事業として、ファッション分野から株式会社ワールドを公募採択。Science Based Targets等のサプライチェーン全体の温室効果ガス排出削減目標の達成に向けた取組を支援
- 企業と家庭から排出される衣類の量の推計
- 循環型ファッション推進のためのラベリングの検討

4. 生活者の理解と行動変容の促進に向けたラベリングと情報発信

- 適切なケア・リユース・リペア、サブスクリプション等の呼びかけ
- サステナブル・リサイクル・環境配慮設計の製品の効果的なラベリングの検討
- CO2排出量の見える化
- 回収などに対する行動変容インセンティブの付与
- クールビズやウォームビズ、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）などサステナブルなライフスタイルを推進する機会を通じて発信
- インフルエンサーやファッションメディアなどと連携した情報発信

- ・ 製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業として、ファッション関係の分野から、株式会社ユニテッドアローズを公募採択。CFPの算定及び表示・活用に関する先進的なロールモデルの創出に向けて取組を支援。
- ・ 政府広報番組（ラジオ、BSテレビ）
- ・ 学会・イベント等での講演

サステナブルファッションに関する情報発信

政府広報ラジオ
(青木源太・足立梨花 Sunday Collection)

青木源太・足立梨花
Sunday Collection

おしゃれの新常識！ サステナブルファッション（音声で聴く）



ゲスト

環境省

環境省「ファッションと環境」タスクフォース

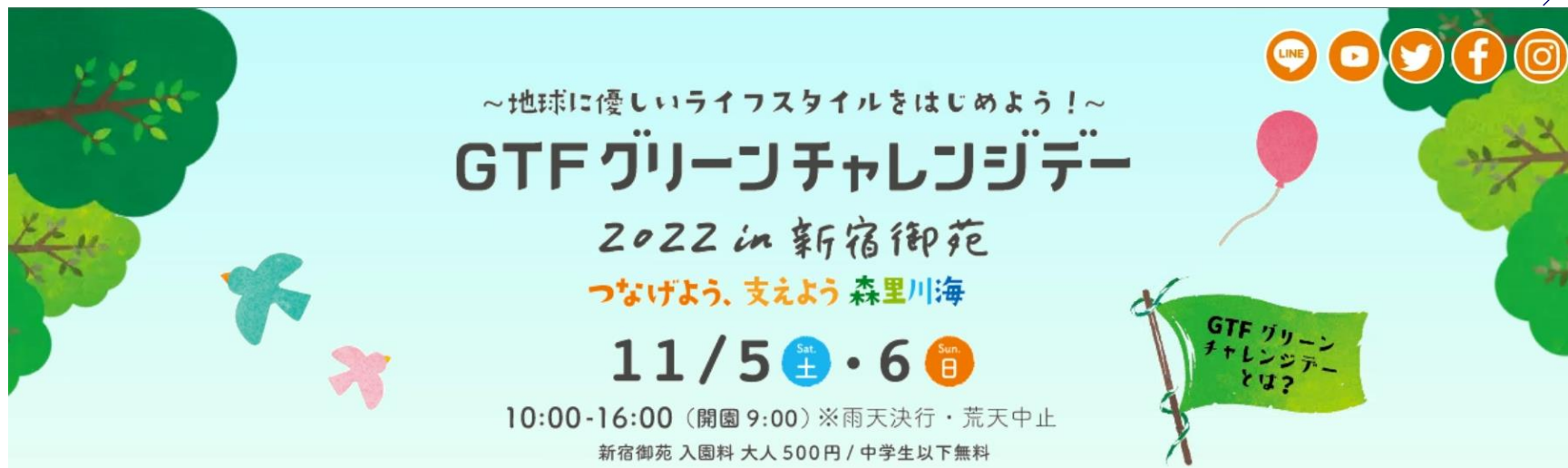
金井塚 彩乃

政府広報テレビ
(ビビるとさくらとトモに深掘り！知るトビラ)



サステナブルファッション～
いま私たちにできること～

サステナブルファッションに関する情報発信



トークショー（山田副大臣参加）



服の交換会、ブース展示



「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」とは

○ 来年のG7広島サミットも見据え、脱炭素につながる**新しい豊かな暮らし**の実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル 転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信します。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO2削減が求められます



しかし、国民・消費者の行動に具体的に結びついているとは、まだ言えない状況です



1 例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示します



2 国、自治体、企業、団体等で共に、**国民・消費者の新しい暮らしを後押し**します



来年のG7やG20等において、

- ・ 我が国から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイルの提案**
- ・ **官民連携によるライフスタイル・イノベーションの国際協調**を提案・発信することも視野



国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出・マーケットインを促します

「新しい豊かな暮らし」に向けた個別アクション

第1弾

- 「ファッション」、「住まい」、「デジタルワーク」で、新しい豊かな暮らしを提案します

1



若者含めた全世代が働きやすい服装を選ぶ**“オフィス服装改革”**を
呼びかけます



【ファッション】

業界の皆様と連携し、**サステナブルファッション**を浸透させます

2



快適で健康な暮らしにもつながる**住宅の断熱リフォーム**促進キャンペーン
を展開します

【住まい】

3



テレワークの率先垂範 を実行します



国立公園のデジタル化 (ワーケーション・インバウンド対応)
と民間・自治体と連携した積極誘致を促進します

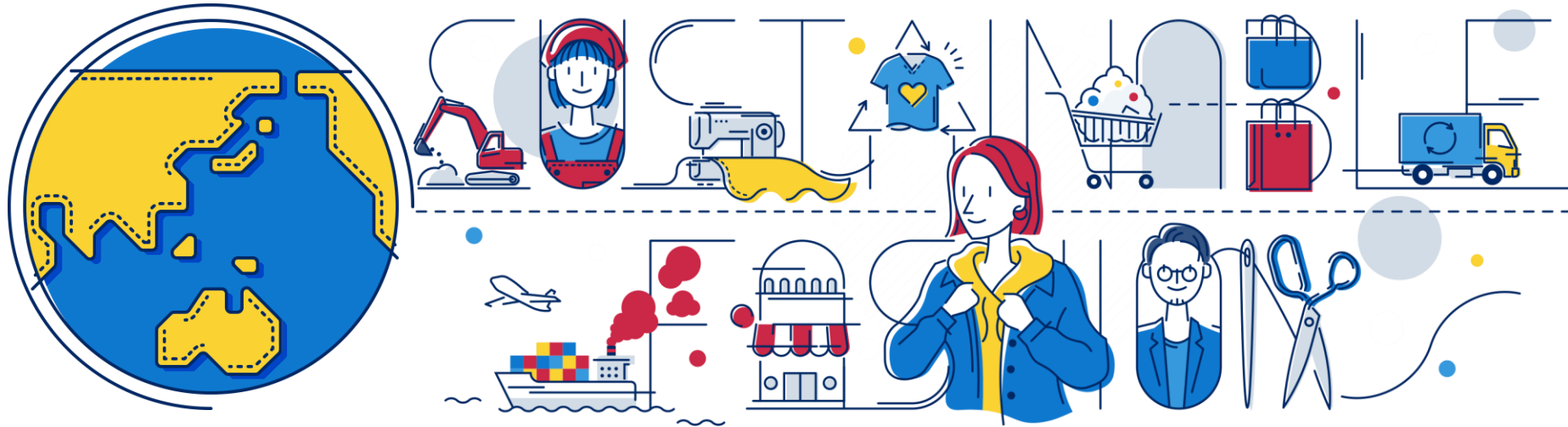
【デジタルワーク】

サステナブルファッションに関する情報発信

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動
及び官民連携協議会発足式（令和4年10月25日）



WEBページをご覧ください



もっと詳しく知りたい方はこちら



https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/